

# かがやけ憲法 キャラバンニュース

- ★北海道→青森→岩手→秋田→山形→宮城→福島→新潟→群馬→栃木→茨城→千葉
- ★山口→広島→島根→鳥取→岡山→香川→愛媛→高知→徳島→三重→岐阜→愛知→静岡→神奈川
- ★鹿児島→熊本→長崎→佐賀→福岡→大分→宮崎→兵庫→大阪→和歌山→奈良→京都→滋賀★
- ★福井→石川→富山→長野
- ★沖縄★

治安維持法、軍機保護法の再来とも言える

## 秘密保護法案は廃案に！

●11/27～28 京都

### 「京都総評の提案」示し、地域経済問題等で懇談

憲法キャラバン九州・近畿コースは、11月27日、奈良から京都に引継ぎました。

京都総評は、このキャラバンで①地域経済における京都総評の課題、地域・業界の実態について意見交換する②政府アベノミクスや消費増税等、政策に対する京都総評への評価と意見交換することを位置づけ、独自に11月26日、29日、12月2日、4日にも日程を設け、2コースで回るなど16商工会、商工会議所、4つの広域振興局、そして米軍Xバンドレーダー基地の「受け入れ」を表明した京丹後市に申し入れ、懇談するなど精力的に取り組みました。



キャラバン最初の宣伝は、福知山駅、綾部駅前で行いました。11月26日、政府与党(自民・公明)とみんなの党など数の暴挙で特定秘密保護法案を強行採決したことに抗議し廃案を訴えました。全労連・岩橋常任幹事は、消費税増税や社会保障改悪、労働法制改悪など安倍政権の暴走について触れ、「力を合わせ憲法を生かし、くらし、雇用、平和を守ろう」と述べました。京都総評・永井さんは、「戦争の経験もないし、戦争もしたくありません」と話し(写真)、建交労・藤谷さんも、「子どもたちの未来のために、憲法をしっかりと学び、明るい日本を残しましょう」と、安倍政権が強行した秘密保護法案についての危惧と廃案を強く訴えました。福知山駅前では、通行人が自転車を止め「いいこと言うね」と声をかけてくれました。

1 日目の夕方、西舞鶴駅前での宣伝でも、5 人の弁士は皆、安倍内閣が衆議院で特定秘密保護法案を強行採決したことに抗議し廃案を求めました。京都総評・辻副議長は、京丹後市が経ヶ岬に米軍Xバンドレーダー基地受け入れを表明したことに、住民の安全が守られるのか懸念を示し、米軍基地建設反対を訴えました。京都府農協労連・濱見書記長は TPP 問題に触れ、農業だけでなく医療、雇用、国民生活、地域経済など幅広い問題があり、「国民の安全を大きく脅かすもの」と、交渉から撤退することを求めました。綾部地労協・瀬尾事務局長、全労連・全国一般京都地本・山縣書記長、全労連・岩橋常幹が訴えました。

2 日間で訪れた綾部市商工会議所、舞鶴市商工会議所、京丹後市商工会議所、宮津市商工会議所では、専務理事が対応。京都総評から「地域経済再生・中小企業支援を求める京都総評の提案」を示し、京丹後地方の活性化にむけた有意義な懇談となりました。

京都府中丹広域振興局の農林商工部商工労働観光室室長、丹後広域振興局の商工労働観光室室長、同主査と懇談。京都総評から「地域経済の活性化と、安定した雇用創出、暮らして行ける賃金など、働く者の暮らしを支える施策の充実を求める要請書」を提出し、意見交換をしました。

### ◆米軍Xバンドレーダー基地の「受け入れ」を表明した京丹後市と懇談

2 日目には、京丹後市へ「米軍基地設置の『受け入れ』撤回」の申し入れを行いました。「申し入れ」書では、住民の理解が得られていないこと、住民の安全安心の面で大きな不安があるとし、撤回を求めたうえで、環境評価の実施やドクターヘリの運行が必要な場合のレーダーの停波作業手順など、明らかにするよう求めました。

対応した企画総務部総務課基地対策室室長は、環境評価について、「日本環境管理基準を米軍が作成運用している。防衛省に対し、適切に対処してほしいと申し入れる」

「ドクターヘリの救急時運行など、これから協議をしていく」などと述べました。それに対し、京都総評の辻副議長は、「手順として全く逆。撤回しかない」と、改めて強調しました。

要請には、岩橋常幹、京都総評から辻副議長、全労連・全国一般京都地本の山縣書記長、化学一般京滋福地本の森下顧問、京都府農協労連濱見書記長、大西自治労連執行委員、奥井福知山地方労協議長、斉藤綾部地労協副議長、瀬尾舞鶴地労協事務局長、松下京都自治労連書記長、近江丹後労連事務局長らが参加しました。



## ●11/29～12/2 滋賀

### 6 町 13 市と県庁を訪問

滋賀では 11 月 29 日と 12 月 2 日、県内を回り、6 町 13 市と県庁を訪問。「憲法をいかし、くらしと雇用、平和を守る共同について」とし平和や、雇用、社会保障、消費税、震災、原発などでの取り組みについて申し入れを行っています。

29 日は愛荘町で懇談をし、原発問題や税について意見を交わしました。村西町長は秘密保護法に反対の意向を示し、強く共感しあい濃密な 1 時間の懇談となりました。懇談の予定をしていなかった甲良町や日野町でも町長と面会でき短時間でしたが、意見交換を行うことが出来ました。

## ◆瀬田駅前での宣伝

29日夕刻には瀬田駅前での宣伝を行いました。秘密保護法をめぐる情勢が緊迫する中でしたので、急ぎ秘密保護法のチラシを入れたティッシュを配布しました。宣伝カーから全労連の岩橋常任幹事、県労連の瀧上議長、山元事務局長、福祉保育労滋賀の清水書記長、運転手としてキャラバンに参加されている建交労埼玉の藤谷氏が交代で憲法を守ることの大切さと秘密保護法の危険性を訴えました。学生や若者が足を止めて聞き入る姿が見られました。

1時間強の取り組みでしたが、当日用意した500枚のビラ付ティッシュはすべて配布することが出来ました。

参加は全教、高教組、福保労、自治労連、県労連、そして秘密保護法の宣伝ということで民医連からも参加いただき10人でした。



## ●12/2 千葉(1日目)

### 世界で一番多国籍企業が活動しやすい国 とんでもない

#### ◆海浜幕張駅前での宣伝

キャラバン隊は12月2日、千葉県に入りました。早朝のピンと張り詰めた空気の中、IBMやNTT、イオンなど大企業が軒を連ねる海浜幕張駅前、出勤する労働者に向け宣伝行動。千葉労連の松本議長は「憲法は人権を守るために戦争を放棄し、生存権をうたっている。世界で一番多国籍企業が活動しやすい国にするなど、とんでもない」とアベノミクスを批判しました。

千葉土建の代表は、「戦争が起これば私たちは最前線で橋や道路を作らされる。そんなことはしたくない」と訴えました。千葉県医労連の代表が訴えました。

#### ◆市民団体とともに500人で秘密保護法反対の昼休みデモ

11時から県庁要請の後、昼休みに県庁宣伝とデモを実施。10月末に結成された特定秘密保護法に反対する会と全労連憲法キャラバンが連携して行われ、500人が集まりました。出発に先立って県庁前で行われた出発集会で、反対する会の鈴木守会長(自由法曹団)は、秘密保護法について、「何が秘密か、それが秘密。政府が知られては困ることを広範に秘密指定し、知ろうとすると厳罰に処すというものだ。原発輸出・再稼働、TPPなど国民の過半数が反対している政策も秘密指定されたら、暴き、公表しようとしただけで犯罪になってしまう。取材、報道もできず国会審議も形骸化してしまう」と指摘し、「治安維持法、軍機保護法の再来ともいえる秘密保護法廃案へ今週が山場、全力でたたかおう」と呼びかけました。参加者は「こんなに集まるなんて」と声を弾ませていました。なお、地元紙の千葉日報のほか朝日新聞、東京新聞が翌日の朝刊に写真入りで大きく報道しました。



## ◆雇用の質が大事

午後は千葉労働局と千葉市に要請に行きました。全労連高橋副議長と千葉労連の松本議長、鈴木副議長、本原事務局長、コープネット労組占部書記長と鈴木執行委員、自治労連千葉県本部の長平特別中執など8人で臨みました。労働局では労働基準部監督課主任監察監督官が対応し、ブラック企業対策やパワハラなどについて意見を交換しました。

千葉市では経済農政局経済部長など5人が対応。神谷部長は「地元で就職し働き続けられる環境を作りたい。雇用の質が大事だ」と表明し、雇用の創出や労働条件整備、中小企業の振興策について意見交換しました。秘密保護法について「千葉市長はしっかり審議すべきとしている」、憲法改定については「地方自治に関わることなので注視したい」と述べました。

夕方千葉駅前では退勤する労働者に対して宣伝行動を行い1日の行動が終了しました。

